

しか おい

特別 編

議会だより

三二版

No.73

2022.2.25

発行 / 鹿追町議会 編集 / 広報広聴常任委員会・広報部会
〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町1丁目15番地 1
TEL / 0156-66-4039 FAX / 0156-66-4041

鹿高生が町政をオンラインで問う



オンラインでの喜井町長答弁に耳を傾ける鹿追高校2年生

高校生議会で 一般質問

2月7日、鹿高生による高校生議会（鹿追町議会主催）が議会本会議場と鹿追高校をオンラインでつないで開催された。

1月20日に議員が鹿追高校へ出向き、アドバイスをもらった。

鹿追高校2年生の生徒26人が、7グループに分かれて協議し一般質問を実施した。



鹿追高校からオンラインで一般質問



議場で鹿高生の質問に耳を傾ける喜井町長と説明員



議員は自席で一般質問を傍聴



開会前に吉田議長があいさつ

医療看護グループ

Q 医療体制充実と鹿追高の看護科誘致継続を

A 医療環境整備に努めたい



左から 秋田 琉真さん、大仲 優月さん

(質問) 鹿追町国保病院で、常勤医師2人で24時間救急受け入れ体制は困難と考

(答弁) 喜井町長 平日は常勤医2人で対応しているが、休診日は近隣及び札幌から臨時医師として雇用している。体制確保に努めたい。

(質問) 北海道医師確保計画では「医師多数区域から調達する」とあるが、鹿追町は医師不足と思うが、医師増員の具体案は。

(答弁) 喜井町長 病院経営は常勤医師2人と、専門科目は医師の派遣を受けて医療提供している。看護師も随時募集し、緊急時は派遣会社から対応し、医療従事者は不足していない。育成の観点から、大学等へ進学した鹿追高校生は、無利子で就学資金貸し付けを行っている。

(質問) 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ及び対応は。

(答弁) 喜井町長 検査は実施しているが、患者の受け入れは施設や人員確保の課題があり困難である。自宅療養者等の治療に関与する医療機関の登録を北海道に申請中である。

(質問) 鹿追高校に看護科設置を再度検討する考えは。

(答弁) 喜井町長 鹿追高校は北海道立であり、北海道の理解がないと難しい状況である。看護師養成は重要と考



国民健康保険病院 町内医療機関の一つ

(質問) 紅葉シーズンに福原山荘へ向かう途中の案内看板が少なく感じられる。案内看板を増やす考えは。



左から 橋本 七都さん、中村 勇太さん、竹俣 佳奈さん

観光グループ

Q 然別湖周辺の案内看板設置等の観光対策は

A わかりやすく安全・快適な環境に配慮する

(答弁) 喜井町長 福原山荘の特別公開は、民間事業者が行なっており、町では安全啓発の看板設置、案内情報の発信等を行なっている。案内看板があることで、より分かりやすくなることから、民間事業者や観光協会と協議したい。

(質問) 然別湖に向かう道路で、ガードレールやトンネル内の危険箇所改善は。

(答弁) 喜井町長 駒止湖周辺の道道拡幅整備を北海道へ要望しているが、大雪山国立公園内で自然保護のため工事できない。継続要望する。然別湖畔トンネルは開通後27年経過し老朽化している。トンネル内の照明はLED化を進めており、令和4年度の更新を見込む。

(質問) 観光地の公衆トイレ改修の考えは。

(答弁) 喜井町長 北海道で建設した然別湖畔及び扇ヶ原展望台公衆トイレは、老朽化の状況を踏まえ、適切な時期に要望する。

(質問) 神田日勝美術館の展示場の入口と出口を別にして順路を設定すれば、作品をしっかりと鑑賞できるのでは。

(答弁) 渡邊社会教育課長 提案内容はできる範囲で検討する。グッズ販売は、令和5年度からキャッシュレス化を導入し、スムーズに販売できるよう進めたい。



福原山荘の紅葉 (R3.10.10)

（質問）
第7期鹿追町総合計画
での多様な農業の経営形



左から 宮崎 琴理さん、仲 玲奈さん、川村 悠さん

■調理グループ

Q 多様な経営形態の農業
と廃棄物処理は
A 持続可能な農業推進と
ごみ減量化を進める

態と研究はどの程度進んでいるか。

（答弁）喜井町長

鹿追町の農業は、畑作では馬鈴しょ・小麦・てん菜・豆類の4品で輪作体系を確立し、酪農では生乳、畜産では肉牛・肉豚を生産している。

また、4品以外の新規作物を輪作体系の中に取り入れたり、ハウス園芸も行なっている。

人手不足と農作業負担増が懸念され、キャベツは自動収穫機械等の省力化研究も進めている。今後も町として持続可能な農業の推進を諮れるよう研究したい。

（質問）

廃棄物処理の課題について、施策を行なっているが、成果は上がったか。

（答弁）喜井町長

一般廃棄物再生利用施設「ひまわりセンター」を建設し、リサイクルを推進している。



水耕栽培ハウス内部
瓜幕バイオガスプラントの余剰熱を活用

生ごみは環境保全センターで堆肥化処理し、循環型社会を目指している。リサイクル以外のごみは、以前は町内で埋立処理していたが、令和3年度から十勝管内の広域処理に移した。生ごみ減量化の取り組みは、堆肥化容器コンポスターを2548基、室内で使用できる電動生ごみ処理機18台を購入助成している。

家庭ごみ排出量は、ここ5年で5・48%減、生ごみは18・4%減となっている。

今後もリサイクル推進とごみ減量化を進める。

■教育・行政グループ

Q タブレット端末の充電
スペースの設置を
A 現在の設備で対応可能

（質問）

町内の小中高校にタブレット端末の充電スペースを設けてほしい。

自宅で充電を忘れた場合、代わりの端末を使うことになるため、自分のデータがなく、帰宅後の家庭学習が難しくなる。

高校1・2年生を対象にアンケートを実施したところ、85%が充電スペースの設置を希望している。

（答弁）喜井町長

国のGIGAスクール構想で整備されたタブレット端末は、新しい学習方法として、また、コロナ禍でのオンライン授業等を実施するため、大変有効に活用されている。学校には充電機能付きの保管庫が設置されており、充電スペースとして使用することは可能なことから、高校と相談してほしい。

また、町民ホールのオンライン公設塾「ペンギン・コロニー」には充電

可能なデスクを配置しているので活用してほしい。

（質問）

今の小学生は約6キログラムの荷物を背負って登下校している。

小学生の荷物の軽減について検討してほしい。持ち帰る荷物を最低限にし、体への負担を軽減してほしい。

（答弁）喜井町長

小学生の荷物の軽減については、全ての学校において置き勉を以前から認めており、今後も児童や生徒の身体の負担を軽減するよう配慮したい。



鹿追高校でのタブレット授業
鹿追町で導入し高校へ貸付中

■行政・哲学グループ



左から 高本 司空さん、長沢 元太さん、加納 光祐さん

鹿追型ゼロカーボンシ

Q 鹿追町が目指す ゼロカーボンシティとは A バイオガスプラントを 核とした鹿追型に挑戦

ティ実現へのロードマップでは、新たなバイオガスプラントが建設予定であるが、建設地、予算及び設備等の具体策は。

〔答弁〕喜井町長

令和3年に新規バイオガスプラント整備のマスタープランを策定し、施設規模で瓜幕バイオガスプラントの約2倍、予算60〜70億円と想定される。国の補助事業を活用するとともに、民間事業者との協力も検討したい。

また、液肥の生産量に対して散布農地面積が少なく、液肥の水処理等の検討も必要である。

不確定な要素も多く、早期の建設が難しい状況である。

〔質問〕

町民向けのゼロカーボン推進パッケージ補助事業の内容は。

〔答弁〕喜井町長

令和3年10月設置の鹿追町ゼロカーボンシティ

推進協議会を中心に、各事業所や鹿追高校生等、幅広い層の意見をもとに「鹿追町ゼロカーボンシティ推進戦略」を策定中である。

町民向け推進パッケージ助成事業は、太陽光発電等の再生可能エネルギー導入や、省エネ家電製品への買い替え等、国の補助制度を活用した助成制度について検討している。

しかし、国の補助制度が未確定の状況にあり、個別の内容はもう少し時間を必要とする。



瓜幕バイオガスプラント
中鹿追と共にゼロカーボンシティ拠点の一つ

■スポーツグループ



左から 阿部 龍人さん、小野 健太さん、遠藤 翔太さん、浅野 未莉さん、芳本 真姫さん

小学生のスポーツ活動

Q タブレット端末を活用 したスポーツ指導を A 一層のスポーツ推進を 図る

に少年団があるが、参加できない子どもたちの運動能力向上につながるイベントを実施しているか。

〔答弁〕喜井町長

本町では、スポーツ団体と行政が連携し「町民ひとり1スポーツ」を目指して取り組んでいる。

皆さんの先輩であるスピードスケートの松井大和選手が活躍し、本町のスポーツ活動に大きな功績を残している。一層のスポーツ推進を図りたい。

〔答弁〕大井教育長

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、本町小学生の体力・運動能力は、おおむね北海道の平均並みと捉えている。

体育や運動会準備の特別授業は年120時間程度で、給食や各種学校生活も間接的に体力向上につながる。

スポーツにあまり興味がない児童向けに、5年前からスポーツに親しみ

やすい企画「デ・キ・ル」を開催している。今後も事業内容を検討・実施したい。

〔質問〕

タブレット端末によるオンライン講習で、スポーツ指導者から正しいトレーニングを受けることができると思うが。

〔答弁〕大井教育長

オンライン講習導入による指導者不足の改善や、正しいトレーニング方法を提供するという提案に大きな可能性を感じる。

スポーツ現場でタブレット端末を活用し、動画配信や撮影を行うことで、今までにない即効性のある効果が期待できる。大いに検討したい。



スポーツセンター
少年団活動の拠点



左から 滝口 湖白さん、上村 菜月さん、松久 はるなさん、渡邊 はるさん、平山 さや花さん

美容グループ

Q グランピング及びサウナ施設建設の考えは

A 観光振興の観点から調査・研究を進める

〔質問〕

観光客を増やし、町を活性化する方法としてグランピングやサウナ施設を造っては。

グランピングは少ない荷物で手軽に宿泊でき、自然や非日常感を楽しむメリットがある。

また、サウナは疲労回復やストレス解消等の効果があり、子どもから高齢者まで楽しめ、交流の場にもなる。

これらの施設を然別湖周辺に建設し、特産品や鹿追産の食材を販売することにより観光誘客に期待ができると考える。

建設費用は約600万円と見積り、予算の確保及び実現の可能性は。

〔答弁〕 喜井町長

大雪山国立公園内での施設建設には、自然公園法等に基づく許認可を受けなければならず、湖畔のホテル周辺での用地確保には難しい課題が多い。グランピング施設にお

ける立地選定は重要な要素であり、自然体験が大きな魅力になる。

しかし、自治体が運営することは難しく、宿泊施設を経営する等、事業運営に対するノウハウを持つ民間企業が行うことが望ましいと考える。

民間事業者が事業に取り組む場合、町の活性化に資する協力をしたい。

〔質問〕

鹿追町独自で美容と健康について考えていることは。

〔答弁〕 喜井町長

今のところ考えはないが、町の活性化につながる事業については関係機関と協力しながら進めていきたい。



グランピング (イメージ)



1. 看護医療グループ (川染議員)



2. 観光グループ (清水議員)



3. 調理グループ (台蔵議員)



4. 教育・行政グループ (埴淵議員、山口議員)



5. 行政・哲学グループ (加納議員)



6. スポーツグループ (吉田議長、安藤副議長)



7. 美容グループ (狩野議員、上嶋議員)

鹿高生へ議員がアドバイス

3月定例議会 開催予定

- 8日(火) 本会議 午前10時～
9日(水) 本会議(残り) 午前10時～
16日(水) 一般質問 午前10時～
17日(木) 一般質問(残り) 午前10時～
18日(金)、22日(火)、23日(水)
予算審査特別委員会 午前9時30分～
23日(水) 本会議(最終日) 午前10時～

議会中継やっています。

YouTubeで議会中継を閲覧
できます。

上記のQRコードを読み取るか、左記の時刻に鹿追町議会 議会中継ページからご覧ください。

(3月16日・18日がおすすです。
過去の中継もご覧いただけます)

<https://www.town.shikaoi.lg.jp/gikai/chukei/>



主な議会活動

〈12月〉

- 3日 全員協議会
議会運営委員会
9日 全員協議会
定例議会 初日
総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
15日 定例議会 一般質問
全員協議会
産業厚生常任委員会
17日 定例議会 最終日
議会運営委員会
24日 全員協議会

〈1月〉

- 11日 全員協議会
第1回臨時議会
全員協議会
広報広聴常任委員会 広報部会
17日 広報広聴常任委員会 広報部会
産業厚生常任委員会

- 20日 広報広聴常任委員会
(鹿追高校生へ一般質問アドバイス)

〈2月〉

- 7日 鹿高生による高校生議会
全員協議会
9日 産業厚生常任委員会
18日 広報広聴常任委員会 広報部会
22日 全員協議会
24日 議会運営委員会
全員協議会 活性化調査会

(今後の動き)

〈3月〉

- 1日 総務文教常任委員会
2日 産業厚生常任委員会
まちなか会議 農業委員会と産業厚生常
任委員会との懇談会
4日 全員協議会
議会運営委員会

広報広聴常任委員会

広報部会

- 部会長 台蔵 征一
副部会長 清水 浩徳
部会員 安藤 幹夫
部会員 川染 洋
部会員 山口 優子

来も安泰ということでしょう。
台頭に安心と心強さを感じ、町の将
これからの時代を担う若い世代の
です。

高校生議会がコロナの拡大でオン
ラインでの開催。議場での開催のよ
うな臨場感はありませんでしたが、
どのグループも町のことをよく勉強
しており、鋭い質問に関心した次第

オンライン高校生議会



加納 茂

議員コラム

控え室